



志岐小通信 麟泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和3年度 5月19日 第2号 文責：瑞穂 良頭

児童会スローガン「きまりを守って みんななかよし 志岐小学校」



5月11日、志岐小児童会活動の柱となる児童会総会を実施しました。児童会活動にとって大切なことが2つあります。1つ目は、児童会というのは、児童167人全員で成り立っており、みんなで取り組まなければならないということです。しかし、167人がバラバラなことを言っているとしても、バラバラな行動をしていても、何も成し遂げることができません。そこで、2つ目は、志岐小が心一つにして取り組むために、各委員会のリーダーシップが必要となるということです。6年生から始まった各学級のめあて発表では、6年生が良い手本となり、1年生も頑張っています。

級まで堂々と発表することができました。また、各委員会の報告も、今年度の志岐小をもっと良くしたいという意気込みが強く感じられました。児童会活動も「チーム志岐小」で頑張ります。令和3年度バージョンの、これまでの先輩を超える児童会活動、そして志岐小を創り上げてほしいと思います。そのことで、志岐小167人による新たな伝統が創り上げられていきます。1年間、子どもたちの活躍を楽しみにしたいと思います。

リモートでの『春のお話会』大成功！



5月7日、たんぼぼホールの皆様による「春のお話会」を実施しました。今回感染症対策もあり、初めての試みとしてZoomを使ったリモートで実施しました。校長室という狭い中での実施でしたが、各教室の子どもたちは、絵本の読み聞かせや人形劇など、たんぼぼホールの皆様の臨場感あふれる演技やセリフに引き込まれながらのとても楽しく



有意義な時間となりました。Zoomは、40分という時間制限もあり、様々な困難の中でしたが、たんぼぼホールの皆様の子どものたちに対する熱意に心から感謝申し上げます。志岐小では、今年度も1人読書150冊を目指しています。春のお話会により、読書への興味・関心をさらに高めることができました。本当にお世話になりました。

オンラインゲーム等に関するお願いです！

「今日は、〇〇時に集合ね」という、ある学校の子どものたちの会話です。遊ぶ約束のようですが、集合場所は、何とゲーム上なのです。インターネットの普及やゲーム機の改良により、子どもたちの間ではオンラインゲームが大流行しています。皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。オンラインゲームは、子どもはもちろん大人にとっても魅力的なものです。一人でゲームしていても、オンライン上で友だちや知らない人とでさえ一緒にプレイすることができるので、より楽しさが増します。しかし、それゆえに、オンラインゲームによる問題やトラブルも数多く報告されています。その中でも多いのが、①仲間外し ②依存傾向 ③言葉づかい(暴言など) ④課金トラブル などのです。そして、オンラインゲームでは、トラブルがあっても見つかりにくいという負の側面があります。また、小学生以上が対象となっているゲームもありますが、そうではなく年齢制限がかけられているものも多くあります。(例えば、荒野行動17歳以上、フォートナイト15歳以上など) 年齢制限があり、対象年齢ではないということも、小学生が遊ぶには好ましくない内容や表現などが含まれているということでもあります。4月の懇談会でもお話ししましたが、今一度、ご家庭でのゲームの状況をご確認いただき、子どもたちが加害者・被害者とならないように、見守っていききたいと思います。

遊ぶ約束のようですが、集合場所は、何とゲーム上なのです。インターネットの普及やゲーム機の改良により、子どもたちの間ではオンラインゲームが大流行しています。皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。オンラインゲームは、子どもはもちろん大人にとっても魅力的なものです。一人でゲームしていても、オンライン上で友だちや知らない人とでさえ一緒にプレイすることができるので、より楽しさが増します。しかし、それゆえに、オンラインゲームによる問題やトラブルも数多く報告されています。その中でも多いのが、①仲間外し ②依存傾向 ③言葉づかい(暴言など) ④課金トラブル などのです。そして、オンラインゲームでは、トラブルがあっても見つかりにくいという負の側面があります。また、小学生以上が対象となっているゲームもありますが、そうではなく年齢制限がかけられているものも多くあります。(例えば、荒野行動17歳以上、フォートナイト15歳以上など) 年齢制限があり、対象年齢ではないということも、小学生が遊ぶには好ましくない内容や表現などが含まれているということでもあります。4月の懇談会でもお話ししましたが、今一度、ご家庭でのゲームの状況をご確認いただき、子どもたちが加害者・被害者とならないように、見守っていききたいと思います。

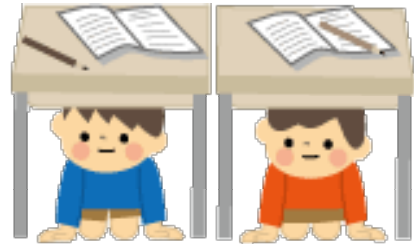
【学校教育目標】

「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に積極的に貢献する人材の育成～

地震・津波避難訓練、キーワードは「最善を尽くして、率先避難せよ！」

学校の学習の中でも、「命を守る」ための学習は、最も大切です。4月30日、苓北町役場駐車場をお借りして、地震・津波避難訓練を実施しました。昨年、「志岐小全員が100点満点の避難をできなければ、学校としては0点だ。」ということで、一人一人の命を守る避難行動の重要性を認識しながら実施しています。避難の状況は、概ね良好でしたが、全員満点ではありませんでした。地震は、いつ・どこで・どのくらいの大きさのものが起きるかわかりません。地震を研究している学者でも、スーパーコンピュータでも、未だに、何年何月何日の何時何分にどこで地震が起きるとは予測できないのです。ただ言えることは、これから先、どこかで、必ず地震は発生するということです。ちょうど5年前、熊本地震も起こりました。被害に遭われた方の心の傷は、未だに癒えていません。苓北でも起こります。子どもたちに身につけてほしいこととして、1つ目は、「その状況下において、最善を尽くす」ということです。東日本大震災の教訓に、津波は、「100回逃げて100回来なくても、101回目も逃げて」とあります。訓練であっても、それくらいの危機意識を持って取り組まなければなりません。



2つ目は、「率先避難者であれ」ということです。「君が助かれば、みんなが助かる」ということです。一人の避難が、みんなの避難につながり、みんなの命を守ることになるのです。危険から命を守るということは、私たちにとって一番大切な行動です。子どもたち一人一人の100点満点が、167人、志岐小の100点満点につながり、災害から全員の命を救うことにつながります。ご家庭でも各地域の避難場所や避難ルートなどについてお子様とお話しただけだと思いません。

虫歯の治療、早めをお願いします！

4月に歯科健診を実施しましたが、虫歯があった人は全体で18%(30人)でした。学校としては、少なく良好な状況です。ただ、虫歯を持っている人には個人差が見られます。



虫歯の予防には、みがき残さない歯みがき、食後の歯みがきの習慣化、保護者による仕上げ磨きの必要性などがよく言われています。人の体の健康は、歯がまず第一であり、虫歯は、人の健康に様々な悪影響を及ぼすと言われています。先週、歯科検診の結果を全家庭にお知らせしております。治療を必要とする場合は、できるだけ早く治療をしていただきたいと思えます。ぜひご家庭でのお子様への声かけをよろしくをお願いします。チーム志岐小で『治療率100%、虫歯ゼロ』を目指しましょう。また、治療に至る前に、まず虫歯にならないように、ご家庭での歯みがき指導もよろしくをお願いします。

【6月の行事予定】

1	火	体力テスト 委員会活動
2	水	
3	木	体力テスト
4	金	水俣に学ぶ肥後っ子教室5年
5	土	
6	日	
7	月	風水害避難訓練 読み聞かせ
8	火	クラブ活動
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	読み聞かせ 毛筆指導4年
15	火	クラブ活動 毛筆指導3年
16	水	不審者避難訓練
17	木	毛筆指導6年
18	金	児童集会 毛筆指導5年
19	土	
20	日	
21	月	読み聞かせ 漢字計算大会週間
22	火	知能検査1・3・5年
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	『命を大切にする心』を育む週間
29	火	委員会活動
30	水	